

## もしものとき、私らしく生きるための話し合いを始めよう

圏地域包括支援センター ☎ 61-1557

INFO

命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなどについて、自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなってしまうといわれています。

最新まで自分らしく生きるために、大切していること、やっておきたいこと、医療やケアしてほしいことなどを「自分で選ぶ」ためには、家族や友人など自分を理解・信頼できる人（代理判断者）との話し合いが必要です。

### 今からできる2つのポイント

#### 「代理判断者を決めて話し合いを始める」

代理判断者と考えや思いを共有しておきましょう。

もしものときに医療やケアが必要になった場合に「どこで、だれと、どんなことをしたいか」「どのような旅立ちを望んでいるか」などを繰り返し話し合います。



「話し合ったことは書き残しておく」書き残したことは、代理判断者以外に、医療従事者や介護関係者にもお知らせできる手段となります。（例 既存のエンディングノートや自由帳）※「今はまだ考えたくない」という人もいます。十分な配慮が必要です。



#### 「こうしたいノート（久慈市版エンディングノート）」

市では「こうしたいノート」を久慈病院と共同で作成しました。元気の泉で配布、市ホームページに掲載していますのでご利用ください。

#### 「こうしたいノート」出前講座

▼対象：講座を2回開催可能な市内の地域団体

#### ▼内容：

第1回「話し合いを始めることのメリット、こうしたいノートの使い方」  
第2回「こうしたいノートを活用してみた感想」

## 新築した久慈高校周辺に防犯灯設置

NEWS

LED 防犯灯設置

平成31年2月に新校舎が完成した岩手県立久慈高等学校。同高校の電気設備工事を施工した高畑電機株式会社が地域貢献事業として、高校の入り口に接する、市道川貫寺里線に既設する防犯灯8灯のLED防犯灯への付け替えと2灯の新設を行いました。

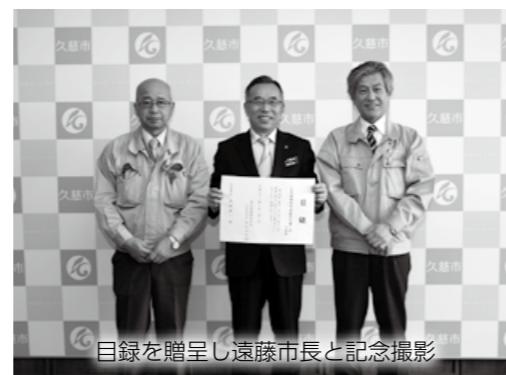
3月22日、渡辺彦之代表取締役社長と米沢久男取締役副社長が久慈市役所を訪問し、遠藤市長に目録を贈呈。渡辺代表取締役社長は「高校の



設置されたLED防犯灯

前が暗いと地域から声を頂き、少しでもお役に立てればと設置させていただきました。今後もさまざまな地域に貢献していきたいです」と意気込みを語りました。

同社は、平成30年度から3カ年にわたり、計30灯のLED防犯灯を地域貢献事業として設置する予定です。



目録を贈呈し遠藤市長と記念撮影

## 初期消火活動に感謝状

NEWS

初期消火活動支援に伴う消防長表彰



久慈剛史消防長らと記念撮影

3月25日、久慈広域消防本部は初期消火活動を支援した宇部町の7人に感謝状を贈呈しました。

感謝状を受けたのは、村塚みつ子さん、小袖幸子さん、大下成子さん、大久保ケイ子さん、大久保栄子さん、大向俊一さん、中村信子さん。この感謝状は、3月4日に宇部町内で発生した民家近くの畑や山林を焼いた原野火災の際に、バケツリレーなどで火災の延焼拡大防止を行ったことを表彰したものです。

## 認知症まずはお相談ください

INFO

圏地域包括支援センター ☎ 61-1557

地域包括支援センターでは「もしかして、認知症かもしれない」など困りの人の相談に応じています。支援が必要な人には、認知症の診断や治療ができる医師と医療・介護・福祉の専門職で構成されている「久慈市認知症初期集中支援チーム」につなぎます。

#### ▼支援内容：病院受診や介護サービスなどを受けるための支援、症状にあった対応についてのアドバイス

▼対象：久慈市に住所のある概ね40歳以上の人で、在宅



認知症初期集中支援チームのメンバー

で認知症の症状などでお困りの人（認知症の症状が強くどのように対応してよいか困っているなど）

## 障がい者サポート活動に表彰状

NEWS

岩手県ひとにやさしいまちづくり表彰



表彰状と記念のお盆を掲げ記念撮影

3月26日、「障がい者観光サポーターの会」が「平成30年度岩手県ひとにやさしいまちづくり表彰」を受賞しました。この賞は、施設整備、製品開発、普及啓発などを通じて、ひとにやさしいまちづくりの推進に功績があった人を表彰するもの。同団体は岩手県が

実施した障がい者サポーター養成講座の受講者らが中心となり、平成22年3月に結成。現在は15人で活動しています。メンバーは、小中学生や地域住民へのキャップハンディ体験、観光施設やまちなかのバリアフリー点検活動、障がい者が観光や行事へ参加する際のサポート支援を行っており、これらの活動が認められたものです。

4月12日に川村美代子代表らが市役所を訪れ、遠藤市長に受賞を報告。川村代表は「観光関係団体と連携して、障がい者が使える施設やユニバーサルデザインを活用した地図の作成など障がい者サポート活動の幅を広げていきたい」と今後の活動への意欲を述べました。

## 駅前複合施設の名前を決定

令和2年7月のオープンに向け工事を進めている駅前複合施設の名前が「YOMUNOSU」に決定。全国から応募された608点の中から、市内在住の高橋正浩さんの作品が選ばれました。この名称には、読書での成長や中心市街地発展への願い、にぎわいを創出する場になってほしいなどの意味が込められています。

4月17日、市役所で表彰式が行われ、賞状や副賞が贈呈されました。高橋さんは「この名前は命令でもなく、呼びかけでもない『読むのす（読むんですよ）』という方言。たくさんの人に覚えてもらい、使っていただければと思います」と名称への思いを話しました。



賞状を掲げる高橋さん（右から2人目）



## 二戸★トピックス

### 深く・わく発見！稲庭岳高原まつり

SaToMansion 浄法寺初登場！

▶日時…5月26日(日)10時～15時

▶会場…稲庭交流センター天台の湯周辺（二戸市浄法寺町黒沢133-1）

▶内容…ステージショー（小田代直子、SaToMansion、ぶっとペライダーズ）、お食事広場・産直広場、釣り堀、アクアボール体験、ふわふわ遊具、宝探し大会など

※当日は、シャトルバスも運行します

二戸市観光協会浄法寺支部（浄法寺総合支所地域支援課内）☎0195-38-2211